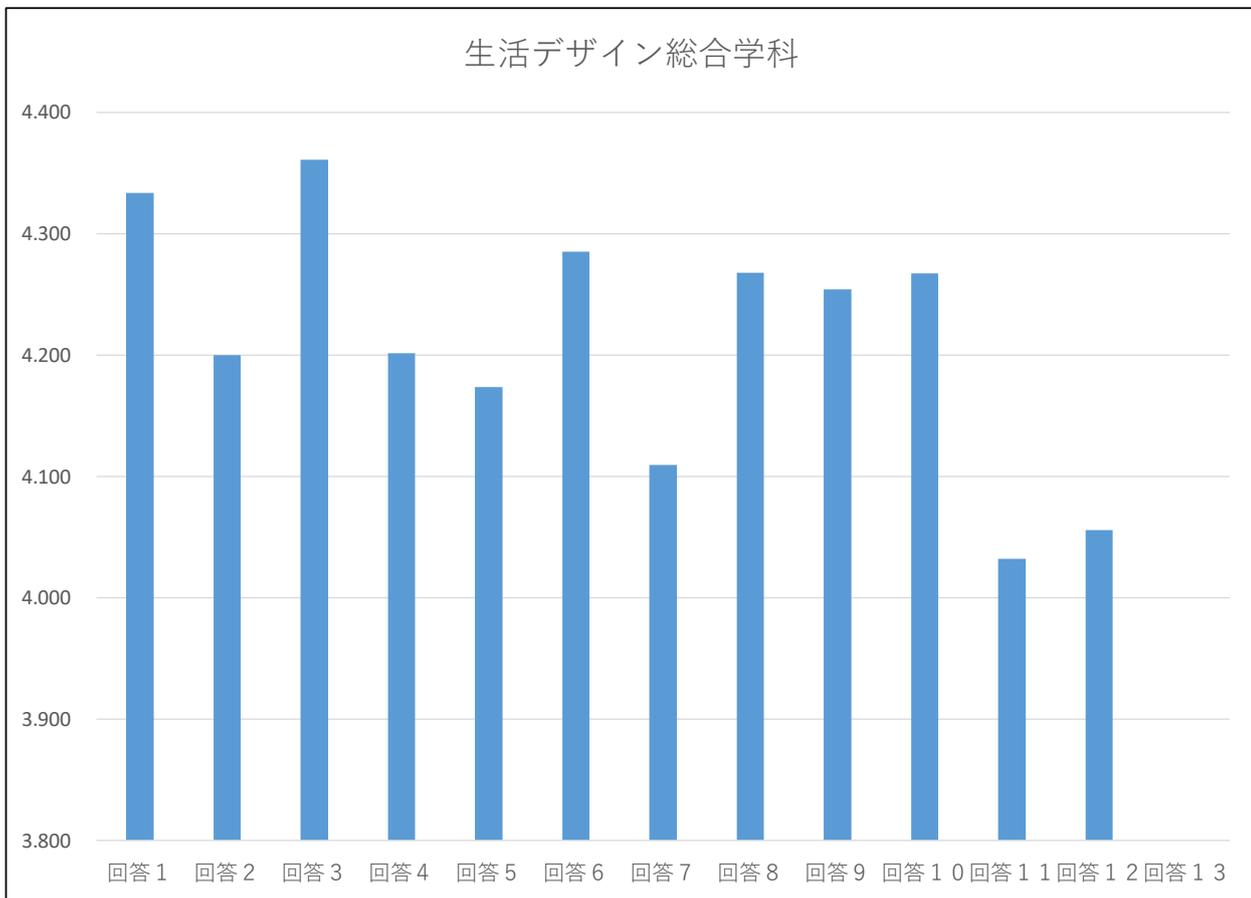


平成30年度 後期 授業評価アンケート各学科集計結果・分析報告

平均値	回答 1	回答 2	回答 3	回答 4	回答 5	回答 6	回答 7	回答 8	回答 9	回答 10	回答 11	回答 12	回答 13
食物栄養学科	4.012	3.902	4.195	4.035	3.912	4.051	3.860	4.013	4.152	4.029	3.814	3.847	
幼児教育学科	3.673	3.578	3.847	3.732	3.545	3.713	3.615	3.750	4.003	3.805	3.531	3.579	
生活デザイン総合学科	4.334	4.200	4.361	4.201	4.174	4.285	4.110	4.268	4.254	4.267	4.032	4.056	

【設問】

- Q1. この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。
- Q2. この授業の板書や資料等の内容はわかりやすい。
- Q3. この授業では教員の意欲や熱意が感じられる。
- Q4. この授業では教員が良好な学修環境を保つよう適切に対応した。
(私語、居眠り、携帯等)
- Q5. この授業は学生の理解度を確認しながら進められた。
- Q6. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されていた。
- Q7. この授業では社会人基礎力を意識した授業工夫がされていた。
- Q8. この授業は総合的にみて満足している。
- Q9. この授業には積極的に参加した。
- Q10. この授業で知識・技術などが向上した。
- Q11. この授業で自分はシラバスに示されている到達目標を達成できたと感じる。
- Q12. この授業で自分は社会人基礎力を意識して取り組むことができ成長が感じられる。
- Q13. この授業を理解するためにどのような努力をしましたか。(予習・復習含む)
5). インターネットで検索 4). 図書館で調べた 3). 先生に質問した
2). 授業ノート・配布資料の復習をした 1). 授業外に実習した(複数回答可)



Q1. この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。

【平均:4.334(4.4)】前期アンケート結果と同様、教員は学生達に授業内容を聞き取りやすいようにゆっくりと適性のスピードで話し、声の大きさも明瞭でハッキリと話すように気を付けて授業を行っていることがわかる。

Q2. この授業の板書や資料等の内容はわかりやすい。

【平均:4.200(4.3)】前期アンケート結果と同様、教員は板書を書く時は、学生に読みやすいように文字の大きさや濃さなど気を付けて書き、資料等の内容も学生に理解しやすい内容の資料を準備し配布していることがわかる。

Q3. この授業では教員の意欲や熱意が感じられる。

【平均:4.361(4.501)】前期アンケート結果と同様、多くの教員は授業に意欲を持ち、授業内容が学生に理解できるように努力していることがわかる。

Q4. この授業では教員が良好な学修環境を保つよう適切に対応した。(私語、居眠り、携帯等)

【平均:4.201(4.307)】前期比0.2ポイント上昇。83.8%が適切に対応したと回答している。前期アンケート結果と同様、教員は気温が暑い日や寒い日などは適時エアコンを入れたり、学修環境を妨げるような学生の私語があれば注意をして授業が受けやすい学修環境に配慮していることがわかる。

Q5. この授業は学生の理解度を確認しながら進められた。

【平均:4.174(4.220)】前期アンケート結果と同様、教員は学生が授業内容を理解できたか適時確認し、その都度チェックしながら授業を進めていることがわかる。

Q6. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されていた。

【平均:4.285(4.384)】前期アンケート結果と同様、教員は学生に授業内容の大切なポイント箇所があれば、その都度ポイント箇所をわかりやすく示し説明していることがわかる。

Q7. この授業では社会人基礎力を意識した授業工夫がされていた。

【平均:4.110(4.202)】前期アンケート結果と同様、教員は学生に社会人基礎力が身に付くように授業内容を工夫し授業を行っていることがわかる。学生は授業で身に着けた社会人基礎力の知識や経験を活かし、自分の将来の糧とし実社会で活躍できることを願う。

Q8. この授業は総合的にみて満足している。

【平均:4.268(4.345)】前期アンケート結果と同様、授業について満足している学生が多いと思われる。今後改善すべき点を分析して、100%の学生が満足できるように努力していきたい。

Q9. この授業には積極的に参加した。

【平均:4.254(4.343)】特に、演習、実習系の授業については積極的な姿勢が得られているが、講義系の一部の科目で消極的な回答となった。講義系であっても学生たちが主体的に取り組めるように配慮した授業展開を教員間でも検討しながら、今後進めていきたい。

Q10 この授業で知識・技術が向上した。

【平均:4.264(4.294)】本学科では、積み上げ方式の授業体系ではないこと、専門分野(履修ユニット)の学生と専門外の学生が混在する中で授業を行っているので、全員が向上する授業展開は非常に難しいと考えられるが、受講した学生全てがスキルアップできるように教授方法も工夫して取り組んでいきたい。

Q11. この授業で自分はシラバスに示されている到達目標を達成できたと感じる。

【平均:4.032(3.932)】各科目において、到達目標を授業内に学生たちにしっかり伝え、目標に向かって取り組む学修指導を強化する必要があると考えられる。学生個人の学修の中で、PDCAサイクルにそって学修を進めていく取り組みを学科内で検討していきたい。

Q12. この授業で自分は社会人基礎力を意識して取り組むことができ成長が感じられる。

【平均:4.056(3.960)】。本学の教育目標の一つでもあるので、全員の学生が常に意識して取り組めるように、授業内での発揮の仕方、行動特性のあり方を指導し、教員全員で働きかけを行っていきたい。

Q13. この授業を理解するためにどのような努力をしましたか。(予習・復習含む)

- 5). インターネットで検索 4). 図書館で調べた 3).先生に質問した
2). 授業ノート・配布資料の復習をした 1). 授業外に実習した(複数回答可)

授業ノート・配布資料の復習による内容理解が一番多い結果であった。授業内でノートをしっかりまとめること、教員側もわかりやすい資料を提示することを今後も力を入れて進めていきたい。図書館利用が1割未満と最も少ない結果であったので、図書館利用率を上げるためにも、各教員から働きかけるようにしていきたい。

良い点・改善点等

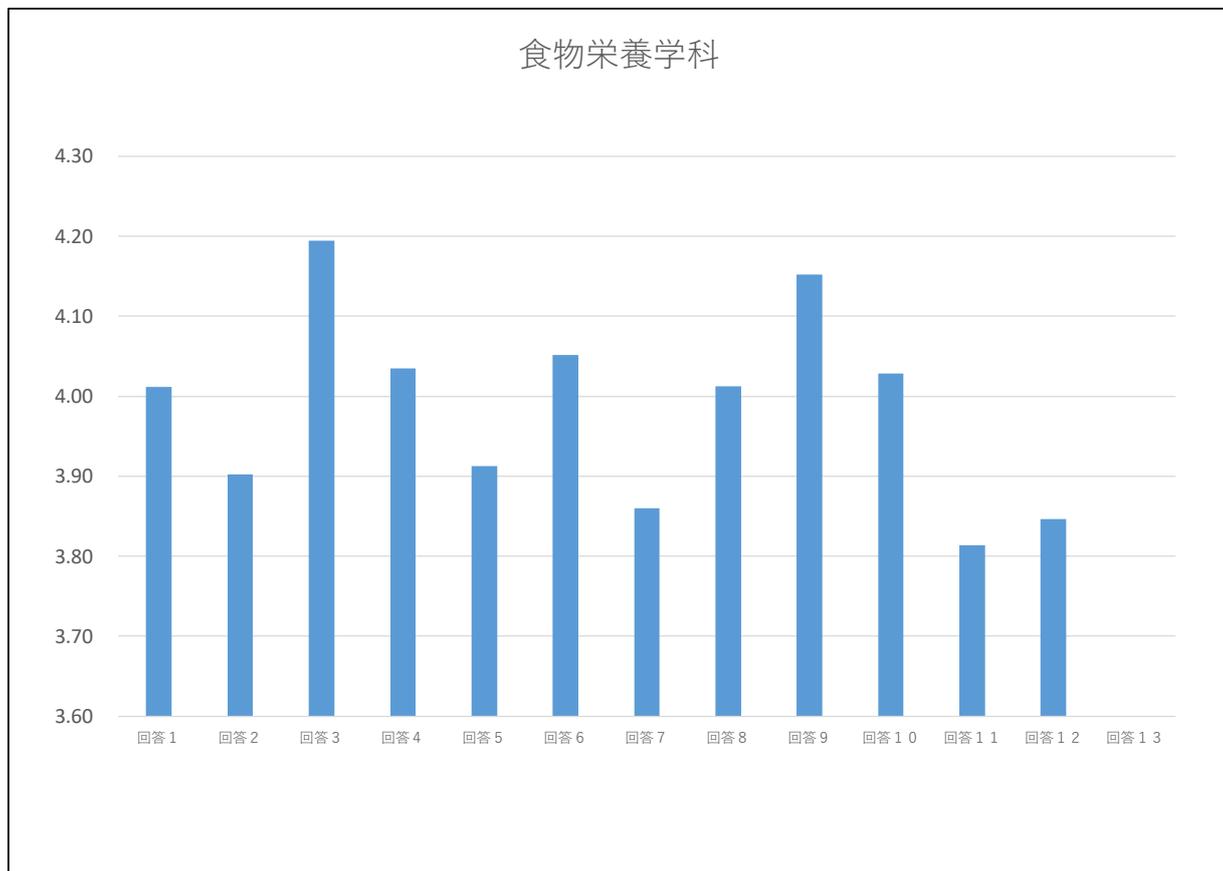
・全体的に評価の平均が4以上を示す項目が多かったので、授業内容、教授法など問題はない。
・全項目の中で、教員側の意欲や熱意を汲み取って評価する項目が一番評価の点が高く、先生方の姿勢が伝わっている。
・シラバスに掲載されている「到達目標」、「予習・復習」、「社会人基礎力」に関する項目の評価が低いので、さらなる教員側の働きかけが課題である。

平成30年度 後期 授業評価アンケート各学科集計結果・分析報告

平均値	回答 1	回答 2	回答 3	回答 4	回答 5	回答 6	回答 7	回答 8	回答 9	回答 10	回答 11	回答 12	回答 13
食物栄養学科	4.012	3.902	4.195	4.035	3.912	4.051	3.860	4.013	4.152	4.029	3.814	3.847	
幼児教育学科	3.673	3.578	3.847	3.732	3.545	3.713	3.615	3.750	4.003	3.805	3.531	3.579	
生活デザイン総合学科	4.334	4.200	4.361	4.201	4.174	4.285	4.110	4.268	4.254	4.267	4.032	4.056	

【設問】

- Q1. この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。
- Q2. この授業の板書や資料等の内容はわかりやすい。
- Q3. この授業では教員の意欲や熱意が感じられる。
- Q4. この授業では教員が良好な学修環境を保つよう適切に対応した。
(私語、居眠り、携帯等)
- Q5. この授業は学生の理解度を確認しながら進められた。
- Q6. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されていた。
- Q7. この授業では社会人基礎力を意識した授業工夫がされていた。
- Q8. この授業は総合的にみて満足している。
- Q9. この授業には積極的に参加した。
- Q10. この授業で知識・技術などが向上した。
- Q11. この授業で自分はシラバスに示されている到達目標を達成できたと感じる。
- Q12. この授業で自分は社会人基礎力を意識して取り組むことができ成長が感じられる。
- Q13. この授業を理解するためにどのような努力をしましたか。(予習・復習含む)
5). インターネットで検索 4). 図書館で調べた 3). 先生に質問した
2). 授業ノート・配布資料の復習をした 1). 授業外に実習した(複数回答可)



Q1. この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。

【平均:4.0】

平均4.0であり、良好な結果であった。しかし、前期は平均4.2であり、-0.2点であった。この結果を真摯に受け止め、話し方、話すスピードなどを改善するように、学科全体で努力する。

Q2. この授業の板書や資料等の内容はわかりやすい。

【平均:3.9】

前期は平均4.0であり、後期は-0.1点であった。
各教員が授業を分かりやすくするためにパワーポイントや資料を作成しているが、内容や表現などを見直し、学生が分かりやすいと感じることができるように学科全体で努力する。

Q3. この授業では教員の意欲や熱意が感じられる。

【平均:4.3】

平均4.3と良好な結果であり、前期と同点であった。
本授業アンケート項目の中で一番高い数値であり、学生に教員の意欲や熱意が通じていることを知ることができた。今後も意欲・熱意をもって授業に取り組むようにしたい。

Q4. この授業では教員が良好な学修環境を保つよう適切に対応した。(私語、居眠り、携帯等)

【平均:4.0】

平均4.0であり、良好であった。しかし、前期は平均4.2であり、-0.2点であった。学生の授業態度が前期に比べ、悪化したようには見受けられなかった。万が一、授業中に学生の私語や居眠りがあった場合、教員はその都度注意をするようにしている。
後期になり、新館工事が本格化し、工事の作業音が教室に響くことがあり、この騒音がマイナスの原因とも考えられた。

Q5. この授業は学生の理解度を確認しながら進められた。

【平均:3.9】

H29・後期は平均4.3、前期は平均4.1であり、今回、さらにマイナスとなった。
授業中に理解度を確認する質問をしたり、小テストを実施しているが、今後は小テストのフィードバックを重視するとともに、やや理解不足と思われるの学生にも対応するように努める。

Q6. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されていた。

【平均:4.1】

H29・後期は平均4.5、前期は平均4.2であり、今回もマイナスとなった。
栄養士養成に関する専門科目は全ての内容が重要である。その中で特にポイントとなる点は「ここがポイント」と明確に伝わるように、強調したり、繰り返したり、分かりやすくなるように学科全体で取り組む。

Q7. この授業では社会人基礎力を意識した授業工夫がされていた。

【平均:3.9】

平均3.9であり、前期と同点であり、特に問題はない点数といえる。しかし社会人基礎力は成績の10%を占めることから、実習・実験・演習科目はもとより、講義科目においても、会人基礎力の獲得のための授業展開、評価の基準などについて、学科全体として検討していく。

Q8. この授業は総合的にみて満足している。

【平均:4.0】

前期は平均4.1であり、後期は-0.1点であった。
教員の話し方、板書・資料などの分かりやすさ、学修環境、理解度を確認しながらの授業進行の項目は、前期に比べ低下しているが、学生の授業満足度は前期とほとんど変わっていない。Q1・2・4・5・6が改善されることで、授業満足度は向上する可能性があるため、授業改善に学科全体で努力する。

Q9. この授業には積極的に参加した。

【平均:4.2】

前期は平均4.2であり、後期は-0.1点であった。

学生が授業に積極的に参加することは主体性の向上にもつながる。実習・実験・演習科目において積極的な参加を期待するが、講義科目においても、何らかの形式で学生が積極的に授業に参加できるように学科全体で検討していく。

Q10 この授業で知識・技術が向上した。

【平均:4.1】

平均4.1と良好な結果であり、前期と同点であった。

栄養士や医療秘書としての専門的な知識や技術が向上するような授業となるように、学科全体で努力していく。

Q11. この授業で自分はシラバスに示されている到達目標を達成できたと感じる。

【平均:3.8】

前期は平均3.9であり、後期は-0.1点であった。

授業の到達目標を初回のオリエンテーションで説明するが、本アンケート実施時に到達目標を学生が覚えているか否かが問題と思われる。本アンケートを実施するにあたり、到達目標を提示した方が、より信頼性の高い結果が得られると思われるため、今後、アンケート実施前に到達目標を確認していく。

Q12. この授業で自分は社会人基礎力を意識して取り組むことができ成長が感じられる。

【平均:3.8】

平均3.8であり、前期と同点であり、特に問題はない点数といえる。

講義、実験、実習、演習を通じて、多くの学生が自身の成長を感じているようである。学生の社会人基礎力をつけられるように、すべての授業で社会人基礎力を意識して授業展開するように、学科全体で取り組む。

Q13. この授業を理解するためにどのような努力をしましたか。(予習・復習含む)

5). インターネットで検索 4). 図書館で調べた 3). 先生に質問した

2). 授業ノート・配布資料の復習をした 1). 授業外に実習した(複数回答可)

授業ノート・配布資料の復習をする学生が多くみられた。このことから、授業の板書や配布資料を充実させることが、学生の学修につながると思われた。次いでインターネットでの検索が多かった。どこでも検索できるスマホの存在は大きいことが伺えた。しかし、インターネット情報の信憑性について、出典元の確認もしてほしいところである。学修の取り組み方は様々であるが、図書館の利用が少ないことが残念であるため、授業の中で図書館利用も促していきたい。

良い点・改善点等

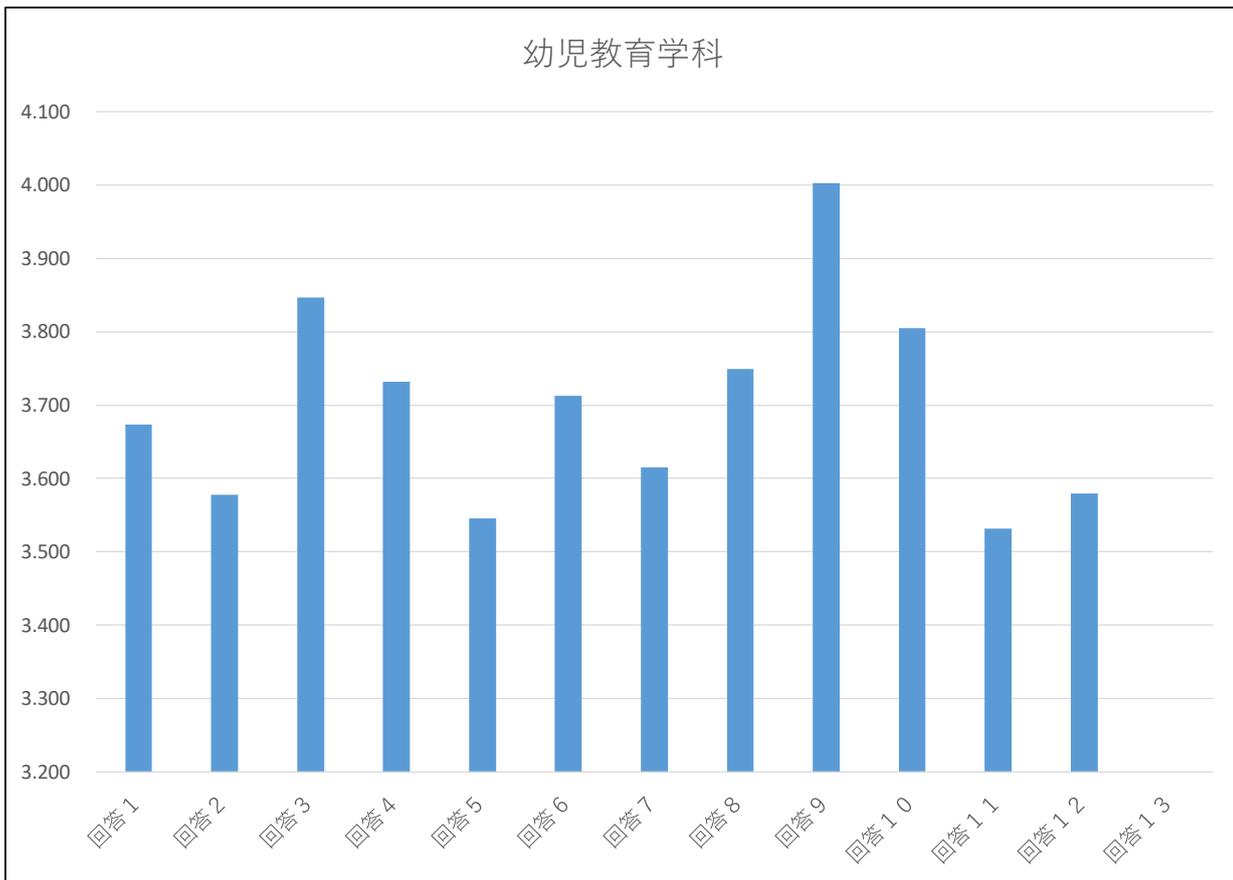
教員の授業や対応に関する質問(Q1～Q8)に関しては、ほとんど平均4以上であり、概ね良好であった。しかし、点数は前期に比べ、多くの質問で低下している。前期は記名式での実施、後期はは無記名式での実施という違いはあるものの、このような結果を踏まえ、学生の授業態度や授業の様子などを教員同士で情報交換し、教授法などを改善に取り組んでいく。

平成30年度 後期 授業評価アンケート各学科集計結果・分析報告

平均値	回答 1	回答 2	回答 3	回答 4	回答 5	回答 6	回答 7	回答 8	回答 9	回答 10	回答 11	回答 12	回答 13
食物栄養学科	4.012	3.902	4.195	4.035	3.912	4.051	3.860	4.013	4.152	4.029	3.814	3.847	
幼児教育学科	3.673	3.578	3.847	3.732	3.545	3.713	3.615	3.750	4.003	3.805	3.531	3.579	
生活デザイン総合学科	4.334	4.200	4.361	4.201	4.174	4.285	4.110	4.268	4.254	4.267	4.032	4.056	

【設問】

- Q1. この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。
- Q2. この授業の板書や資料等の内容はわかりやすい。
- Q3. この授業では教員の意欲や熱意が感じられる。
- Q4. この授業では教員が良好な学修環境を保つよう適切に対応した。
(私語、居眠り、携帯等)
- Q5. この授業は学生の理解度を確認しながら進められた。
- Q6. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されていた。
- Q7. この授業では社会人基礎力を意識した授業工夫がされていた。
- Q8. この授業は総合的にみて満足している。
- Q9. この授業には積極的に参加した。
- Q10. この授業で知識・技術などが向上した。
- Q11. この授業で自分はシラバスに示されている到達目標を達成できたと感じる。
- Q12. この授業で自分は社会人基礎力を意識して取り組むことができ成長が感じられる。
- Q13. この授業を理解するためにどのような努力をしましたか。(予習・復習含む)
5). インターネットで検索 4). 図書館で調べた 3). 先生に質問した
2). 授業ノート・配布資料の復習をした 1). 授業外に実習した(複数回答可)



Q1. この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。

【H29後期平均:3.81、H30後期平均3.67】

H29年後期の評価と比べると下がっている。先生方には学生への話し方は気を付けていただいていると思いますが、受講人数も少人数から100名を超える授業もありますので、科目によってばらつきはあると思います。

Q2. この授業の板書や資料等の内容はわかりやすい。

【H29 後期平均:3.72、H30後期平均3.57】

前年度後期の評価と比べると下がっている。
講義科目については、学生にわかりやすく伝えるために板書やスライド、配布資料に工夫を凝らしていただいている状況である。学生にうまく伝わっていないということが考えられるので、今後学科全体改善します。

Q3. この授業では教員の意欲や熱意が感じられる。

【H29後期平均:3.92、H30後期平均3.84】

前年度後期の評価と比べると少し下がっている。
担当教員は学生ために意欲や熱意をもって授業を展開していただいている。学生に感じてもらえていないということであれば、今後、学科として検討する必要がある。

Q4. この授業では教員が良好な学修環境を保つよう適切に対応した。(私語、居眠り、携帯等)

【H29後期平均:3.74、H30後期平均:3.73】

前年度の評価と比べると横ばいである。
受講人数が10～110名ということで、人数に合わせた学修環境を保つのは難しいと思います。
講義科目については40人程度のクラス授業への移行を検討していく必要がある。

Q5. この授業は学生の理解度を確認しながら進められた。

【H29後期平均:3.68、H30後期平均:3.54】

前年度後期の評価と比べると下がっている。
Q4に関連はしており、少人数であれば学生の授業態度や表情で確認しやすいですが、受講人数が多いと確認が疎かになると可能性がある。だから、小テストやリアクションペーパーを活用して、理解度を確認するべきである。

Q6. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されていた。

【H29後期平均:3.78、H30後期平均3.71】

前期の評価と比べると少し下がっている。
授業の大切なポイントはどの科目でも示されていると思います。ただ、学生によって理解度の差もありますので、小テストやリアクションペーパーを活用して、理解度を確認するべきである。

Q7. この授業では社会人基礎力を意識した授業工夫がされていた。

【H29後期平均:3.66、H30後期平均3.61】

前期と比較すると少し下がっている。
今年度のシラバスから必ず、社会人基礎力の12要素うち必須7要素を記入しなければならなくなったので、教員側としては意識して授業はしていただいている。学生が社会人基礎力を身につけているかという確認作業が必要である。

Q8. この授業は総合的にみて満足している。

【H29後期平均3.84、H30後期平均3.75】

前期と比較すると下がっている。全体的には満足しているという結果にはなっている。今後も学科で授業のあり方を検討する必要がある。

Q9. この授業には積極的に参加した。

【H29後期平均:3.96、H30後期平均4.00】
前期と比較すると微増である。
保育者としての魅力を伝えることや保育現場が求めているものを学科全体で確認していきたい。

Q10 この授業で知識・技術が向上した。

【H29後期平均3.81、H30後期平均3.80】
前期と比較すると微増である。
今後も保育・教育現場が求めているものを学科全体で再確認し、検討する必要がある。

Q11. この授業で自分はシラバスに示されている到達目標を達成できたと感じる。

【H29後期平均3.44、H30後期平均3.51】
シラバスで作成されている到達目標について、秀(S)と思っている学生であれば評価は低くなり、可(C)と思っている学生であれば評価は高くなる。だから、シラバス作成時に教員間でしっかり到達目標の設定基準を検討する必要がある。

Q12. この授業で自分は社会人基礎力を意識して取り組むことができ成長が感じられる。

【H29後期平均:3.48、H30後期3.57】
教員がしっかりと意図をもって、社会人基礎力の育成に努めなければならないと考える。

Q13. この授業を理解するためにどのような努力をしましたか。(予習・復習含む)

- 5). インターネットで検索 4). 図書館で調べた 3).先生に質問した
2). 授業ノート・配布資料の復習をした 1). 授業外に実習した(複数回答可)

インターネットで検索することの割合が多かった。そのような、学修行動が多かったので、インターネット検索の方法についてはしっかりレクチャーすることが大切である。

良い点・改善点等

後期は、前期と比較すると評価としては減少傾向がある。今回は、無記名式で行い、そのような影響が少しでもあると考える。厳しく指導すると、アンケートで、学生の感情で低い結果になることはありあえる。本学科は幼稚園教諭二種と保育士資格の2つの国家資格を取得を主といるため、ある程度厳しくを教えることも大切になってくる。だから、学科全体で改善点検討すべきだと考える